

(単位：千円)

課名等	細目 事業名	平成30年度	平成30年度	平成31年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	普及指導活動 強化促進事業	24,497	24,497	25,589	12,743		12,846
環境 農業 推進 課 ・ 普 及 ・ 産 地 づ く り 担 当	1 事業目的	産業振興計画の農業分野に掲げた「生産力の向上と高付加価値化による産地の強化」、「中山間地域の農業を支える仕組みの再構築」、「流通・販売の支援強化」、「生産を支える担い手の確保・育成」、「地域に根差した農業クラスターの形成」を目指して、地域課題の解決を図るため、全国普及情報ネットワークを活用しながら、普及指導計画に基づく総合的・重点的な普及活動を推進する。					
	2 事業内容	(1) 地区農業改良普及推進協議会等の開催 (2) 地域ビジョンの策定と計画の具現化 (3) 地域課題解決に向けたチーム活動での総合的対応 (4) 総合及び個別普及指導課題の設定と普及活動の推進 (講習会・研修会の開催、情報の提供ほか) (5) 「産地提案型」による新規就農者の確保・育成、農家経営の改善支援 (6) 青年農業士の認定及び活動支援 (7) 「こうち農業ネット」等による情報発信 等					
	3 事業実施主体	県					
	4 主な事業実績（平成30年度）	普及計画に沿った計画活動の実施 (9 農業振興センター普及課・農業改良普及所 重点プロジェクト5 課題、総合27課題、個別67課題) 地区農業改良普及推進協議会の開催 (9 農業振興センター普及課・農業改良普及所 延べ17回) 青年農業士の認定（6名）					

(単位：千円)

課名等	細目 事業名	平成30年度	平成30年度	平成31年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	植物防疫総合 対策事業	36,015	36,015	34,715	8,973	(手) 137 (諸) 5,506	20,099
環境 農業 推進 課 ・ 研 究 安 全 管 理 担 当	<p>1 事業目的 植物防疫法に基づき病虫害発生予察事業を実施するとともに、安心・安全な農産物の安定生産のため、農薬の適正使用を推進する。また、肥料取締法に基づき登録・届出事務、品質検査等を、農産物検査法に基づき登録検査機関の登録、監視業務を実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 病虫害発生予察事業 15,125 [(一) 9,521 (国) 2,106 (諸) 3,498] 発生状況の調査に基づく病虫害の発生予測や防除対策情報を関係者に迅速に提供する。また、本県へ侵入すると被害が甚大となる病虫害について、侵入警戒調査を実施する。</p> <p>(2) 農薬安全使用対策事業 13,393 [(一) 7,414 (国) 3,977 (諸) 2,002] 安心・安全な農産物の安定生産のため、農薬の適正使用を推進する。</p> <p>(3) 肥料検査事業 577 [(一) 481 (手) 96] 県内で生産及び流通している肥料の公正な取引と品質の保全を図るため、肥料取締法に基づき、登録・届出事務や品質検査、販売取締り指導等を行う。</p> <p>(4) 病虫害防除所運営費 5,484 [(一) 2,588 (国) 2,890 (諸) 6] 農作物に発生する病虫害の発生動向及び農薬安全使用指導等を含めた総合的な防除指導を担う病虫害防除所の運営を行う。</p> <p>(5) 農産物検査事業 136 [(一) 95 (手) 41] 農産物(米穀)の登録検査機関の登録及び監視業務を行い、農産物検査の適正な実施を図る。</p> <p>3 主な事業実績(平成30年度)</p> <p>(1) 病虫害発生予察事業 ・月報、予報の公表：毎月1回で年12回 ・警報の発令 0回、注意報の発令 3回、特殊報の発令 2回、技術情報の提供 4回</p> <p>(2) 農薬安全対策事業 ・農薬安全使用講習会の開催(安芸市、高知市、四万十市) ・農薬の適正使用推進の周知・徹底(講習会等での講演10回) ・農薬販売店等への立入検査 29件 ・本県特産野菜の安定生産確保に係る農薬登録適用拡大用データの作成(シソ、セネガ、トルコギキョウ、シシトウ、ラッキョウ) ・農薬事故発生件数 0件</p> <p>(3) 肥料検査事業 ・普通肥料の登録、更新、廃止、特殊肥料及び肥料販売業の届出書の受理 80件 ・特殊肥料等の品質保全調査及び普通肥料及び特殊肥料の生産量・出荷量調査 1回 ・肥料生産・販売に関する各種問い合わせ対応</p> <p>(4) 農産物検査事業 ・登録検査機関に対する立入調査 6回</p>						

(単位：千円)

課名等	細目 事業名	平成30年度	平成30年度	平成31年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	持続的農業 推進事業	53,062	52,158	51,645	15,912	(諸) 703	35,030
環境 農業 推進 課 ・ 環境 担当	1 事業目的	環境保全型農業への転換を本県農業の基本的な取り組みとして位置付け、環境保全型農業に取り組む生産者組織等の育成を図るため、天敵等の生産資材の導入や、有機農産物の販路拡大の推進等に対し支援する。また、病害版 I P M や普及の遅れているキュウリ、カンキツ等の虫害版 I P M や G A P の普及を推進する。さらに、農業が有する環境保全機能の向上を図るため、地球温暖化防止等に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対してその面積に応じて支援する。					
	2 事業実施期間	平成19年度～					
	3 事業内容	<p>(1) 環境保全型農業の普及推進： I P M 技術の普及推進、広報啓発活動の実施</p> <p>(2) G A P の推進：国ガイドライン準拠 G A P の全産地での実践に向けた指導者の育成及び取り組み支援、国際水準 G A P 認証取得に向けた研修会等の開催</p> <p>(3) 有機農業の推進：オーガニックフェスタの開催支援、有機農業研修会の開催</p> <p>(4) 農業生産工程管理推進事業費補助金 2,599 [(国) 2,599] 国際水準 G A P の認証取得への支援 補助先： J A、農業者等 補助率：定額、 1 / 2 以内</p> <p>(5) 環境保全型農業推進事業費補助金 15,954 [(一) 15,954] ①環境保全型農業実践支援 ②有機農業実践支援 補助先：市町村、有機農業者、農業者等 補助率：① 1 / 3 以内、② 1 / 2 以内</p> <p>(6) 環境保全型農業直接支払交付金 13,538 [(一) 4,513 (国) 9,025] 地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動への支援 補助先：市町村 補助率：国 1 / 2、県 1 / 4、市町村 1 / 4 (国の支援額：4,000円/10 a 以内、県及び市町村は同額以上)</p>					

4 主な事業実績（平成30年度）

(1) 天敵を用いた I P M の普及率（面積割合：平成23年度→平成30年度）

- ・施設キュウリ 15%→36%
- ・施設カンキツ 2%→13%
- ・施設ナス 62%→99%
- ・施設ピーマン類 86%→96%

(2) G A P の推進

- ・全 J A の集出荷場（68カ所）での G A P 実施
- ・グローバル G A P 認証取得事業者数 4（前年度+1）
- ・高知県 G A P 第三者確認制度制定（平成30年9月から運用開始）

(3) 有機農業の推進

- ・第3回高知オーガニックフェスタの開催（1/27）
- ・有機農業の推進に取り組むグループ数 5（前年度±0）

(4) 環境保全型農業推進事業費補助金

- ・生産資材等への補助 20件（12市町）
- ・有機 J A S 認定への補助 2件
- ・有機農業者グループへの活動補助 1グループ（平成31年1月末現在）

(5) 環境保全型農業直接支払交付金

- ・実施市町村数 15市町村
- ・取組件数 36件
- ・交付面積 192ha（平成31年2月末現在）

(単位：千円)

課名等	細目 事業名	平成30年度	平成30年度	平成31年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	県産米需要拡大 推進事業	7,997	5,374	7,020		(財) 1,200 (諸) 112	5,708
環境 農業 推進 課 ・ 技術 経営 担当	<p>1 事業目的 主食用新品種「よさ恋美人」や、酒米「吟の夢」及び「土佐麗」の高品質安定生産技術を確立するとともに、水稻有望品種の選定及び優良種子の確保、非主食用米の作付推進により、県産米の需要拡大、需要に応じた米生産を図る。</p> <p>2 事業内容 (1) 加工用米利用促進事業費補助金 2,600 [(一) 2,600] 補助内容：酒造用として使用される加工用米の作付を、酒造適性の高い「フクヒカリ」を用いて行った場合に、5,000円/10aを補助する。 補助先：農業協同組合 事業実施期間：平成29～31年度</p> <p>(2) 主食用米、非主食用米等の生産振興 ①主食用米、飼料用米及び稲WCS等の栽培技術指導 「よさ恋美人」、「にこまる」の高品質生産指導、多収性専用品種の安定生産指導 ②酒米の生産振興（土佐酒振興プラットフォームの活動支援） 酒米「吟の夢」の高品質生産指導及び酒米品評会の開催、新品種「土佐麗」の作付推進</p> <p>(3) 主要農作物の優良種子の安定生産と奨励品種の決定 ①指定採種ほ場審査、生産物審査と技術指導（6採種組合） ②水稻奨励品種決定調査（農業技術センター）及び同現地調査（12カ所）</p> <p>3 主な事業実績（平成30年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「よさ恋美人」作付面積：68ha、1等米比率：49% ・醸造用新品種「土佐麗」を育成、新たな奨励品種に採用（平成31年2月） ・第3回高知県酒米品評会の開催（出展数：「吟の夢」93点、「フクヒカリ」28点） ・非主食用米の作付面積：1,250ha 						

(単位：千円)

課名等	細目 事業名	平成30年度	平成30年度	平成31年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	土佐茶ブランド 化推進事業	7,721	5,421	6,527			6,527
環境農業 推進課 ・ 技術 経営 担当	1 事業目的 本県中山間地域の基幹的な農産品である土佐茶の生産振興を図るため、良質茶生産による品質の向上や産地再編支援を行い、産地の維持活性化を図る。						
	2 事業内容 (1) 土佐茶産地育成事業費補助金 5,350 [(一) 5,350] ①産地計画に基づく活動促進のための活動への支援 補助先：市町村、JA等 補助率：1/2以内 ②加工体制強化のための専門家の招へい支援 補助先：市町村、JA等 補助率：1/2以内 ③茶産地の生産の維持・拡大のための特徴あるお茶づくり及び茶園の若返りへの支援 改植、台切り、新植 補助先：市町村、JA等 補助率：定額（改植：21,000円、台切り：13,000円、新植：21,000円/10a） ④茶産地の高齢化に対応し、生産性を向上させる自走式茶園管理機の導入及び機械の能力を最大限発揮させる作業道等の整備への支援 補助先：市町村、JA等 補助率：1/2以内						
	3 主な事業実績（平成30年度） ・産地計画に基づく販売促進活動等 3地区 ・改植22a、台切50a ・自走式茶園管理機 1台						

(単位：千円)

課名等	細目 事業名	平成30年度	平成30年度	平成31年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	農業労働力 確保対策事業	9,927	5,927	12,236			12,236
環境 農業 推進 課 ・ 技術 経営 担当	1 事業目的	地区内外の労働力の掘り起こしによる効果的なマッチングや援農者の受入体制の強化、農作業現場へのカイゼン方式の導入、農福連携の推進等に取り組み、労働力の確保と農業経営の発展を図る。					
	2 根拠法令等	職業安定法					
	3 事業内容	<p>◎ (1) 農業労働力確保対策事業費補助金 5,921 [(一) 5,921]</p> <p>補助内容：産地全体での労働力確保のための地区内外からの労働力調整や、県内外からの援農者の確保に向けた取り組み、JA集出荷場へのカイゼン方式の導入に対して補助</p> <p>補助先：① (一社) 高知県農業会議 農業労働力確保対策ポータルサイトの運営、高知県農業労働力確保対策協議会の運営、広域的な援農ツアーの企画と実施 等</p> <p>② 農業協同組合等 援農者の募集、農作業体験・援農ツアーの企画と実施、作業環境の整備、宿泊施設の改修、サポート隊の設置、集出荷場へのカイゼン方式の導入 等</p> <p>補助率：① 定額、② 1/2</p> <p>★ (2) 農福連携推進事業委託料 950 [(一) 950]</p> <p>委託内容：農福連携を推進するため、障がい者や福祉作業所指導員を対象とした農作業体験会、農家等を対象とした研修会等の開催を委託</p> <p>委託先：(一社) 高知県農業会議</p> <p>補助率：定額</p> <p>(3) 経営体へのカイゼン指導 3,514 [(一) 3,514]</p> <p>経営発展に意欲のある法人等(モデル5経営体)に対し、専門家による「カイゼン」手法を用いたコンサルを実施する。</p>					
	4 主な事業成果(平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県農業労働力確保対策協議会の開催(平成30年6月) ・外国人技能実習制度、外国人材の受入れに関する研修会の開催 6回 ・農福連携を推進するためのセミナー、自主企画研修等の開催 8回 ・トヨタカイゼン方式による経営改善指導 6経営体 ・SNS、ワーキングホリディ等を活用した地域外からの援農者の確保 3地区 44名 ・農業労働力のマッチング人数 260名 ・労働力確保の具体的な取り組み実施地区 5地区 					

(単位：千円)

課名等	細目 事業名	平成30年度	平成30年度	平成31年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	ネクスト次世代型施設園芸農業推進事業	50,670	50,670	301,504	222,951	(債)12,000	66,553
環境農業推進課・研究安全管理担当	1 事業目的 「次世代型施設園芸システム」を、多様な園芸作物の生理・生育情報を可視化する「IoP (Internet of Plants)」などの最先端の研究により、Next次世代型として飛躍的に進化させる。						
	2 事業内容 (1) 試験研究費 (実施実施主体：農業技術センター、農業技術センター果樹試験場) ①光合成・生育・収量の評価・予測・調節のためのIoP構築と検証 (17課題) ②省力化・省エネルギー化のためのIoP導入と評価 (1課題) ③病虫害発生の分子/生態基盤に基づいたIoPを活用した持続性ある病虫害管理システムの構築 (8課題) ④栄養成分、機能性成分を強化した品種、栽培方法の開発 (3課題) (2) 試験研究委託料 農業ビッグデータのAI分析に係る研究について、農研機構 (農業情報研究センター) に研究業務を委託						
	3 主な事業実績 (平成30年度) ・「労働の見える化」による匠の技の伝承のため、野菜・果樹栽培作業のデータ化に着手 ・「作物の生理・生育の見える化」のため、カンキツ樹幹内における蒸散量の測定を開始 ・栄養成分・機能性成分の一斉定量分析方法の構築や、機能性成分を高める栽培方法や機能性の高い品種の開発のための施設、機械を整備						

(単位：千円)

課名等	細目 事業名	平成30年度	平成30年度	平成31年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	園芸用ハウス 整備事業	731,353	572,631	702,868			702,868

環境農業推進課・普及・産地づくり担当

01 園芸用ハウス整備事業 597,948 [(一)597,948]

1 事業目的

施設の増設や高度化による経営改善を目指す農業者の育成と新規就農者等の確保のため、ハウスの整備や中古ハウスの改良を支援し、園芸産地の維持、強化を図る。

2 事業実施期間

平成27年度～

3 事業内容

◎ 園芸用ハウス整備事業費補助金 597,430 [(一)597,430]

農協等が園芸農家に賃貸する園芸用ハウスや、市町村、農業公社等が運営する研修用ハウス、中山間農業複合経営拠点や集落活動センターが運営する園芸用ハウスの整備、自然災害の被害を受けたハウス等の復旧、また、中古ハウスの改良費等に要する経費に対し補助する。

(1)補助先：市町村

(2)補助対象：園芸用ハウス、暖房施設、灌水施設、電照施設、環境制御装置、養液栽培施設、その他の附属施設、流動化区分のみ中古ハウスの改良費(解体、運搬、設置含む)

事業区分	1 拠点整備			2 研修			3 新規就農	4 規模拡大	5 輸出拡大	6 高度化	7 流動化	8 災害復旧※2	9 流動化復旧
	新設 2/3以内	新設 1/2以内	新設 2/5以内	研修のみ (産地提案型)	研修のみ	研修のれん 分け							
事業実施主体	JA出資型法人 市町村農業公社 JA 集落活動センター 市町村	JA出資型法人 市町村農業公社 JA 市町村	JA 市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村	市町村
県	1/2以内	新設 2/3以内 中古 1/4以内	新設 1/2以内 中古 1/4以内	新設 2/5以内	2/5以内	1/3以内	2/5以内	1/3以内	1/3以内	中古 1/4以内	中古 1/4以内	建替、修繕 2/5以内	中古 1/4以内
流出防止装置付燃料タンク	1/2以内												
市町村 (知事特認)	1/4以上	新設 1/3以上 中古 1/4以上	1/3以上 (1/6以上)※1	1/4以上 (1/8以上)※1	1/3以上 (1/6以上)※1	1/5以上 (1/10以上)※1	中古 1/4以上	建替、修繕 1/5以上	中古 1/4以上				
流出防止装置付燃料タンク	1/4以上												
補助対象 事業費限度額	12,000千円/10a	新設 12,000千円/10a	一般 8,000千円/10a	一般 7,000千円/10a	軒高・高強度 10,000千円/10a			中古 4,500千円/10a	一般 9,000 千円/10a	軒高・高強度 12,000千円 /10a	中古 4,500千円 /10a		
以下の附属設備を整備する場合は、各区分の限度額に上乗せする。 ・中長期展張フィルム:2,000千円/10a(拠点区分、研修区分「研修のみ(産地提案型)」「研修のみ」に限る) ・ヒートポンプ、木質バイオマスボイラー又は養液栽培設備:3,000千円/10a ・循環式殺菌処理装置:2,300千円/棟 ・炭酸ガス発生機を含む環境制御装置:1,000千円/棟													
※1 ()は知事特認の場合の補助率 ※2 補助対象となる設備は被災ハウスに設置されていた設備に限る													

4 主な事業実績 (平成30年度見込み)

(単位：ha)

区分	拠点整備	研修	新規就農	規模拡大	高度化	流動化	災害復旧	合計
H30	0.17	0.91	3.40	4.81	2.47	0.72	0.30	12.78

※平成31年1月31日時点までに申請があったものの合計値。

(単位：千円)

環境農業推進課・普及・産地づくり担当

03 燃料タンク対策事業 104,920 [(一)104,920]

1 事業目的

南海トラフ地震による揺れや津波によって懸念されている燃料タンクからの重油流出による火災等の二次災害リスクの軽減に取り組み、災害に強い園芸産地の維持・強化を図る。

2 事業実施期間

平成26年度～

3 事業内容

◎ 燃料タンク対策事業費補助金 104,920 [(一)104,920]

重油代替暖房機の導入による燃料タンクの削減や、流出防止装置付きタンクの整備を支援する。

区分	タンク削減区分	タンク整備区分	推進区分
補助事業者	市町村		高知県燃料タンク対策協議会
事業実施主体	JA等	JA、重油供給業者等	高知県燃料タンク対策協議会
事業内容	重油代替暖房機の導入によって、園芸ハウスの加温用の燃料タンクが削減される場合、重油代替暖房機の導入に要する経費の一部を補助する。	流出防止装置付きタンク及び防油堤の整備及び防油堤の設置のためのハウス減築に要する経費の一部を補助する。	防災プログラムの策定等、燃料タンク対策の推進に要する事務費を補助
補助対象	ヒートポンプ 木質バイオマスボイラー 附属設備	流出防止装置付きタンク 防油堤、附属設備 ハウス減築	事務費（人件費、 使用料、手数料等）
補助対象限度額	3,000千円/10a	(1)タンク及び防油堤 1,300千円/基 (2)タンクのみ 1,000千円/基 (3)防油堤のみ 300千円/基 (4)ハウス減築 300千円/棟	定額
補助率 (国事業を活用する場合)	県：1/2以内（1/6以内） 市町村 1/4以上（1/12以上）	県：1/2以内、市町村 1/4～1/3以上 (県：1/6以内、市町村：1/12～1/6以上)	

4 主な事業実績（平成30年度見込み）

- ・燃料タンクの削減実績 11基
- ・流出防止装置付きタンクの整備実績 149基
- ・防油堤整備実績 136基

(単位：千円)

課名等	細目 事業名	平成30年度	平成30年度	平成31年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	農業試験研究事業	166,750	134,728	171,051	231	(財) 8,536 (諸) 56,909	105,375
環境農業推進課・研究安全管理担当	1 事業目的	<p>競合に打ち勝つ高知ブランドを再構築するために、県内で栽培されているナス類、ピーマン類、ショウガ、ミョウガ、早期水稻、土佐文旦、ユズ、新高ナシ、茶などの主要品目の新品種の育成、高品質安定多収生産につながる栽培技術、品質保持に関する技術などを開発する。</p>					
	2 事業内容（全 38 課題）	<p>(1) 新品種の育成に関する研究（8 課題）</p> <p>農業技術センター：5 課題 果樹試験場：2 課題 茶業試験場：1 課題</p> <p>(2) 高品質安定多収生産技術・鮮度保持技術に関する開発（30 課題）</p> <p>農業技術センター：21 課題 果樹試験場：5 課題 茶業試験場：4 課題</p>					
	3 事業実施主体	農業技術センター、農業技術センター果樹試験場、農業技術センター茶業試験場					
	4 主な事業成果（平成30年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・促成栽培シトウにおいて、耐低温性に優れる系統を選抜 ・酒造適性及び醸造適性に優れる早期栽培用酒造好適米「高育酒 80 号（「土佐麗）」を育成 ・トゲが少なく短く、強毒 CTV への干渉効果が高いユズ「高知果試選抜 6 号」、「高知果試選抜 7 号」を優良系統として選抜 ・ショウガ根茎腐敗病菌密度を低下させる可能性が考えられた 9 作物のうち、数作物で防除に活用できる可能性を確認 ・近赤外線照射によるシトウ、ミョウガの腐敗発生の抑制効果を、輸送試験により確認 また、シトウ、ナス、ミョウガでは、抗酸化活性を高める可能性を確認 ・良食味で、高温登熟成に優れた極早生水稻品種「よさ恋美人」の収穫時期早進化のための栽培条件を確認 ・ナス品種「土佐鷹」は他品種に比べ、果実でのコリンエステル含量が高いこと確認 ・冬期にナシ「新高」の樹体を寒冷紗で遮光することにより、休眠打破に必要な低温要求量を補填する効果があることを確認 					